

DPC/PDPS 等作業グループの分析についての報告

DPC/PDPS 等作業グループにおいて、中医協及び入院分科会での指摘事項を踏まえ、分析・検討を進めている。

第 1 回、第 2 回作業グループにおける検討状況については、7 月 25 日の入院分科会において報告を行った。

今回は、第 3 回作業グループにおける検討状況等について以下の通り報告する。

1. 第 1 回、第 2 回の意見を踏まえた分析の方向性

DPC 対象病院の現況についての分析、病院ごとの入退院経路に関する分析、医療資源投入量と在院日数に着目した分析をさらに行った。

2. 第 3 回の検討内容

(1) 医療資源投入量と在院日数に着目した分析

【第 2 回の主な意見】

- ・医療資源投入量と在院日数の分析について、分析対象を広げて、それらの病院の特徴を分析してはどうか。
⇒ 標準化した医療資源投入量と在院日数に着目した分析を、それぞれの上位下位 100 位に加え、上位下位 300 位まで拡げて分布状況等をみた。(参考資料 P 4 ～ 6)

【第 3 回の主な意見】

- ・医療資源投入量が多い病院の存在に比べ、少ない病院がいることにより、他病院に対し支払われる報酬水準に不公平が生じていることが考えられるため、医療資源投入量の少ない病院に着目してはどうか。
- ・医療資源投入量が少ない病院のうち、在院日数が短い病院については、自院内の DPC 算定対象病棟以外へ転棟する症例が多いことにより在院日数が短い場合が考えられる。DPC/PDPS の点数設定へも影響するため、転棟する症例の割合と合わせて分析を進めてはどうか。
- ・医療資源投入量が少ない病院のうち、在院日数が長い病院については、DPC/PDPS の中で在院日数の延長などの影響も懸念されることから、個々の病院における症例の特徴を踏まえ、引き続き分析を行うこととしてはどうか。

(2) 病院ごとの入退院経路に着目した分析

【第2回の主な意見】

- ・ 病院ごとに、DPC 対象病棟から自院の他の病棟に転棟する症例の割合の違いがどれくらいあるか分析が必要ではないか。
 - ・ 急性期以外の病棟を持つ病院の分析は、許可病床に占める割合の数値だけでなく、退棟経路等と合わせたさらなる分析が必要ではないか。
- ⇒ 病院ごとの転棟する症例の占める割合に着目した分析と、割合が高い病院の特徴を分析（参考資料 P 8～12）

【第3回の主な意見】

- ・ 自院内の転棟割合について、医療資源投入量や在院日数との関係も含め、引き続き分析を行うこととしてはどうか。

(3) 診断群分類の占める割合に着目した分析

【第2回の主な意見】

- ・ 医療資源投入量が少なく在院日数が短い病院は、特定の診療科の診療に特化した病院が多いのではないかと。さらなる検討のため、カバーしている傷病の種類等の分析が必要ではないか。
- ⇒ 特定の診断群分類区分の占める割合に着目した分析と、特定の診断群分類区分を多く診ている病院の分析（参考資料 P14、15、16）

【第3回の主な意見】

- ・ 特定の診断群分類を多く診ている病院と、医療資源投入量及び在院日数との明らかな相関は見られないため、特定の診断群分類を多く診ていることを今後の検討に用いることは慎重に検討するべきでないか。

(4) 小児の症例の割合に着目した分析

【第2回の主な意見】

- ・ 主として小児を対象としている病院について別に分析してはどうか。
- ⇒ 小児の症例の割合に着目した分析と、小児の診療を多く実施している病院の特徴（参考資料 P17、18）

【第3回の主な意見】

- ・ 小児の診療を多く実施している病院には一定の傾向があるため、DPC/PDPS 等作業グループにおける今後の検討等にあたっては、引き続き一定の配慮が必要ではないか。なお、対象とする病院の基準については引き続き検討を行うこととしてはどうか。

3. 医療機関別係数のフォローアップ

(1) 治験等の実施（参考資料 P21、22）

【第3回の主な意見】

- ・ 現行の治験等の実施の評価対象となる病院が少ない現状を踏まえ、臨床研究中核病院の要件を参考に評価内容を見直すこととしてはどうか。

(2) 新型インフルエンザ等対策（参考資料 P23、24）

【第3回の主な意見】

- ・ 新型インフルエンザ等協力病院が把握できるようになった事を踏まえ、機能評価係数Ⅱにおける評価を検討してはどうか。

(3) 激変緩和係数（参考資料 P25）

【第3回の主な意見】

- ・ 診療報酬改定における報酬の変動について、病院個別の要因を特定することは困難と考えられるため、激変緩和係数について、前回診療報酬と同様に設定を検討することとしてはどうか。

4. DPC 退院患者調査における報告内容について（参考資料 P27、28）

【第3回の主な意見】

- ・ 集計結果について、一定の解釈が可能となる項目については、引き続き検討することとしてはどうか。

5. 今後の分析の方向性

DPC 対象病院の要件に資する検討する上で、医療資源投入量、在院日数、DPC 算定対象病床数/割合、転棟症例の割合の組み合わせに加え、各病院における個別症例の特徴に着目し分析を実施することとなった。